

## 科 目 名

# 環境体験実習

## Practice for Environment Experience

2年 前期 1単位 選択

村田 重之・橋村 隆介・森山 聡之  
上野 賢仁・天本 徳浩・田代 敬大

### 概 要

「環境」という言葉は包括的・全体的な概念であり、一般的で捉えにくい概念であろう。都市・地域空間での環境問題の解決に向けては、具体的地域の中での具体的課題を通してのアプローチがイメージの具体化や今後の学習に対しての動機付けに資するものと推察される。そこで本学の海の家や阿蘇研修所等を利用し、地域環境問題の体験的な学習を通して、環境問題を具体的に考えることを目標とする。

### 目 標

- 1) 地域環境問題の課題発見、基礎調査、対応策を体験的に学習する。
- 2) ディスカッションの方法、資料・体験のまとめ方、発表方法を習得する。

### 授業計画

テ ー マ	内 容
1) 環境体験実習の概要	意義と対象
2) 地域環境問題の発見 1	課題発見
3) 地域環境問題の発見 2	課題の選定と調査ルート選定
4) 事前調査 1	資料調査
5) 事前調査 2	資料調査
6) 事前調査 3	調査概要の作成
7) 事前調査 4	調査内容の発表
8) 野外調査・体験学習 1	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
9) 野外調査・体験学習 2	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
10) 野外調査・体験学習 3	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
11) 野外調査・体験学習 4	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
12) 野外調査・体験学習 5	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
13) 野外調査・体験学習 6	具体的課題の観察と体験、ディスカッション
14) 課題と対応策	具体的課題の問題点と対応策の検討
15) 総括	レポート作成

### 授業方法

熊本一天草一阿蘇等の地域の具体的環境テーマの事前調査、現地での野外調査・体験学習（週末を利用）、成果発表・レポート作成等を全担当教員が指導する。

### 評価方法

調査・実習の取り組み、レポート等を勘案して評価を行う。

### 教 材

教科書： 未定